

【JIRA新年会が開催されました】

2024年1月10日、大手町のKKRホテル東京 瑞宝の間において、JIRA新年会が開催されました。各種行事及び震災対応などでお忙しい状況下にもかかわらず、200名近い皆様のご参加を頂きました。

コロナ感染症の拡大により、2021年JIRA新年会は中止、2022年・2023年は、参加人数を絞り、飲食も制限しコロナへの対策を行った上で「あいさつの会」として開催致しました。今年2024年はコロナの5類移行なども踏まえ、ようやく以前の形態での「新年会」として開催することができました。

その一方で新年元日から能登半島地震、2日には羽田空港衝突事故と大災害・大事故が続きました。被災された皆様にお見舞い申し上げ、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表し、一同黙祷を捧げてからの開会となりました。



お客様をお迎える (左から) 飯田副会長、信太副会長、山本会長



会場 瑞宝の間全景

【山本会長より新年の挨拶】

開会にあたり、山本会長より新年の挨拶がありました。



冒頭、能登半島地震でお亡くなりになった方への弔意と、被災された方へのお見舞いが述べられました。

引き続き、昨年2023年の画像医療システム産業界に関連する大きな動きとして、①国際的緊張の継続、②インフレ転換時差に伴う歪み、③AIなど技術進化 を挙げて、このような環境下ダーウィンの言う「変化に適応したものが生き残る」を念頭にJIRAが産学官のHUBとなり医療機器産業が変化に適応できるよう尽力するとの決意が披露されました。

さらに今年の干支である龍を取り上げ、龍の角は鹿、龍の頭は駱駝、龍の目は鬼、龍の体は蛇、龍の鱗は鯉、龍の掌は虎と、いくつもの動物を合体して作られた想像上の動物であり、ダイバーシティが大きなキーワードとなる今年2024年に相応しい干支であるとの紹介にて話を結ばれました。

【行政ご来賓の皆様よりのご挨拶】

3省庁4名の皆様よりご挨拶を頂きました。

- 内閣府 健康・医療戦略推進事務局長 中石 齊孝 様
- 厚生労働省 医政局 鶴田 真也 様
 医薬産業振興・医療情報企画課 医療機器政策室長
- 厚生労働省 医薬局長 城 克文 様
- 経済産業省 商務情報政策局 渡辺 信彦 様
 商務・サービスグループ 医療・福祉機器産業室長



中石 齊孝 様



鶴田 真也 様



城 克文 様



渡辺 信彦 様

【閉会挨拶】

皆様の情報交換などが一区切りついたところで飯田副会長が登壇され、例年であれば一本締めお開きとするところ、能登半島地震でお亡くなりになった方、被災された方のことを思い、復興に向けて心を一つにする機会としてこの会を受け止めて、お開きとするとのこと挨拶がありました。



飯田 副会長